

ACK Kids' Programs

参加
無料

無料
託児
あり

プログラム参加には事前申込が必要。QRコードよりお申し込みください。



Art
Fest

Art
Fest

11.7

土

ミシンで描く、
世界にまだない
旗をつくらう
河野愛（美術作家）

11.8

日

木を削って
カタチを探そう
中川周士（桶職人）

11.9

月

お喋りパペット
をつくらう
& アートフェア
鑑賞ツアー
荒木悠（ダブルタン
アーティスト／映画監督）
山田春江（CHEKAS）
（唄い人／腹話術師）



TSUKURU

ACK キッズプログラム参加者募集

2026年

11.7 土 ・ 8 日 ・ 9 月

参加費：無料（ただし、同伴者や保護者のACK入場料は別途必要）

場 所：国立京都国際会館 ニューホール キッズプログラムスペース

時 間：12:00～19:00（最終日のみ11:00～17:00）※最終入場は開場の1時間前まで

国際的な

アートフェアであるArt

Collaboration Kyoto (ACK) の会場で

子どもに向けたワークショップを開催します。会場

内に設置された作品をガイドツアーで巡る「みる」と、実際に

手を動かしながらアーティストや職人とともに作品を作る「つくる」プログラムがあります。参加無料です。皆様のご参加をお待ちしております。



参加申込
プログラム詳細
<https://a-c-k.jp/for-kids>



問い合わせ
kids@a-c-k.jp



ACK Kids' Programsとは、アートフェアの会場を舞台にした、子どもたちとアートのコラボレーションの場です。作品を通じて人と出会い、手を動かし、ことばを交わす。講師の方々とともに「つくる」と「みる」ことを行き来しながら、アートの楽しみ方を学びます。また、生後3ヶ月から小学2年生までのお子様を対象に、バイリンガル対応の託児サービスをご用意し、お子様と保護者の皆様が安心して過ごせる体制を整えています。

(各プログラム・託児は要時前申込、いずれも参加無料、ACKチケットは別途必要)

キッズスタジオ

一般会期中は毎日、副産物産店による
キッズスタジオがオープンします。

(申し込み不要／無料／開設時間は日により異なります)

講師 副産物産店

副産物産店は、山田毅(穀本屋)と矢津吉隆(kumagusuku)が主に京都で活動するものの価値、可能性について考えるプロジェクトです。主な展覧会としては、2021年「副産物産店の“芸術資源循環センター”展」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)、2024年「アブリュート・チェアーズ」展(埼玉県立近代美術館/埼玉、愛知県美術館/愛知)、「京都サーキュラータワー in 森、道、市場」(森、道、市場2024/愛知)、2025年「スキマをひらく」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都)などがあります。



つくる みる

作品の世界に
とびだせ!

定員
15名

ミシンで描く、 世界にまだない旗をつくろう

11.7(土) 14:00~16:00

対象:小学1~6年生

※小学1~3年生の方は保護者の同伴を推奨

ミシンで絵を描くように布を自由に縫い合わせ、自分だけの旗をつくります。ミシンを「縫う道具」としてだけでなく、線を描き、色や形を重ねながらくっつけるための道具として使います。講師は、染織をルーツに、記憶や時間をテーマとしたインスタレーション作品を制作する美術作家・河野愛さん。旗ができたら、世界中の美術作品が集まる展示エリアへ! 子ども自身がガイドとなり、心を動かされた作品をみんなに紹介します。子どもたちの掲げる旗が、誰かにとって新しい作品との出会いの道標になります。



Photo: 堀井ヒロツグ

講師

河野愛 (美術作家)

2007年京都市立芸術大学大学院美術研究科染織修了。在学中にRoyal College of Art 交換留学。広告代理店にてアートディレクターとして勤務した後、芸術大学准教授をはじめ、美術教育にも従事。染織やテキスタイルを制作におけるルーツとし、陶やガラス、布、収集した骨董、写真などを複合的に用い、場所や人の記憶や時間、価値の変化をテーマにした作品を発表。主な展覧会に 田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館「灯台へ、」(2025)、和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館14「こどもの、と」(2024)、Study:大阪関西国際芸術祭(2022)、滋賀県立美術館「Soft Territory かかわりのあわい」など。

つくる 丸太解体
に挑戦!

定員(1.2部)
各10名

木を削って カタチを探そう

11.8(日)

第1部 13:30~15:00 (レクチャー&丸太解体)
第2部 15:30~16:30 (木工制作)

対象:小学3~6年生

※2部のみ:小学1~6年生
(申込不要・材料なくなり次第終了)

三代続く木桶の老舗「中川木工芸」の職人・中川周士さんの技に触れるプログラムを開催します。第1部では木についてのお話を聞き、職人のお手本を見せてもらった後、丸太解体に挑戦。休憩をはさんだ第2部では、カンナやカッターで削ったり、木っ端(こっぱ)を組み合わせたたりして、自分だけのカタチを探します。削るほどに変わる木の表情や香り、手触りを感じながら、自然の木と向き合い、新たな可能性を探し続ける職人の技や姿勢から「つくる」ことのヒントをもらいましょう。



講師

中川周士 (桶職人)

1968年京都市生まれ。1992年京都精華大学立体造形卒業後、重要無形文化財保持者の父・清司に師事し、木桶や指物、制物(くりもの)など木工技術を学ぶ。現代アートの活動も行い、個展や公募展で入賞多数。

つくる みる

おしゃべり人形と
大行進!

定員
10名

お喋りパペットをつくろう& アートフェア鑑賞ツアー

11.9(月) 14:30~16:00

対象:どなたでも

※親子、大人のみの参加も可、未就学児の方は保護者の同伴が必要

映画監督で、ときどき腹話術師の荒木悠(ダブルタン)と、唄い人・腹話術師の山田春江(CHEKAS)と一緒に、靴下や身近な材料でソックパペットをつくります。目と口をつけて名前を付けたり、人形はあなたの相棒です。みんなで相棒と一緒に会場へ繰り出し、人形と大行進しましょう。ブースに並ぶアート作品を前に、人形の口を借りて感想を言ってみたり、アーティストやギャラリストに質問してみたり。ちょっと照れくさいことも、人形と一緒に不思議と話せるかもしれません。つくる楽しさと、見る面白さ。語り、語らせることで、作品の見え方はどう変わるのか確かめにいきましょう。



Photo: FUYU

講師

荒木悠(ダブルタン) (アーティスト/映画監督)

アーティスト・映画監督、ときどき腹話術師。2026年4月、相方の悪魔人形とともに「ダブルタン」としてデビュー。第4回F-1腹話術グランプリ・エンターテインメント部門では初出場で2位の成績を残す。無人島プロダクション所属。

山田春江(CHEKAS) (唄い人/腹話術師)

唄い人・腹話術師。ポップでおしゃべりな人形とともにお茶の間に東の間の笑いと軽やかな歪みを届ける。第3回F-1腹話術グランプリ映像部門優勝。第4回大会では、全大会ファイナリストに選ばれた功績からレジェンド賞を受賞。

「みる」ツアー はなして みよう

ACKの地域還元・学校連携の取り組みとして、
京都府下の学校との連携をスタートし、
アートフェア会場内を巡る「みる」ツアーの実施を予定しています。

監修:京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター(ACC)

参加方法:学校・団体・グループ単位でのお申し込み



ART COMMUNICATION RESEARCH CENTER
京都芸術大学
アート・コミュニケーション研究センター

人が人との間で生きていくために最も重要な要素であるコミュニケーションのあり方・育て方について美術教育の現場から問い直すことを趣旨とし、2009年4月に設立。ニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞教育プログラム「VTC(Visual Thinking Curriculum)」を源流に、京都芸術大学が2004年度から展開する対話型鑑賞教育プログラム「ACOP/エイコップ(Art Communication Project)」を応用し、全国的美術館や他大学との共同研究、芸術祭・アートプロジェクトと連携した取り組みや、医療・福祉など対人援助者やビジネスパーソンに向けた研修も展開しており、年々その活動の領域を広げている。

●Art Collaboration Kyoto (ACK)とは?

Art Collaboration Kyoto (ACK)は、「コラボレーション」をコンセプトに、京都で開催する現代美術のアートフェアです。国内と海外、行政と民間、美術とその他の領域等、様々な分野とのコラボレーションを実現し、新たな可能性を開く機会となるでしょう。会場となる国立京都国際会館では「ギャラリーコラボレーション」と「キョウトミーティング」の2つのセッションを設け、出展ギャラリーが作品の展示・販売を行うほか、ACKが主催する企画展示「Intersections」、パートナー企業とコラボレーションした「スペシャルプログラム」を開催します。その他、キッズプログラム、トーク等、これからのアートの担い手を育成する教育プログラムも充実。併せて京都府内では、ACK会期に合わせて多数のアート展示が開催されます。

●Art Collaboration Kyoto (ACK) 2026開催概要

会期:2026年11月7日(土)~11月9日(月)

会場:国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)ほか

主催:Art Collaboration Kyoto 実行委員会

(京都府、一般社団法人日本現代美術振興協会、一般社団法人日本現代美術商協会、一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、京都商工会議所、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー)

URL:a-c-k.jp

●チケット料金

1日券	[早割券]	2,000円	10月6日(火)まで
	[前売券]	3,000円	11月6日(金)まで
	[当日券]	3,500円	
	[学割]	1,000円	(大学生・高校生) ※中学生以下、無料。
通し券(3日間)		6,000円	11月8日(日)まで

◎託児サービスの予約方法など、詳しくは<https://a-c-k.jp/for-kids>

●会場アクセス

京都市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車、出入口4-2より徒歩約5分

京都市バス、京都バス「国際会館駅前」下車徒歩約5分

京都駅よりタクシーで約30~40分

ACK実行委員会事務局(業務委託/一般財団法人エーシーケー)

604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町229-2 第7長谷ビル 2階
075 708 8591 info@a-c-k.jp